

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	独立行政法人国立文化財機構運営費交付金に必要な経費		担当部局庁	文化庁		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成13年度(統合年度:平成19年度)・なし		担当課室	長官官房政策課		政策課長 清水 明	
会計区分	一般会計		政策・施策名	XⅢ 文化による心豊かな社会の実現 XⅢ-2 文化財の保存及び活用の充実			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	独立行政法人国立文化財機構法(平成11年法律第178号)第12条第1項		関係する計画、 通知等	中期目標、中期計画、年度計画			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。 3行程度以内)	博物館を設置して有形文化財を収集し、保管して公衆の観覧に供するとともに、文化財に関する調査及び研究等を行うことにより、貴重な国民的財産である文化財の保存及び活用を図ることを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	我が国における文化財保護政策の一翼を担い、貴重な国民的財産である文化財の保存及び活用を図るため、有形文化財の収集・保管・展示等の中心的拠点となる博物館の設置・運営を行う。 また、文化財の研究を、多様な手法により実施する。特に文化財の保存・修復等に関する研究の中核的拠点を形成しつつ取り組む。さらに調査・研究成果の国民への公開、文化財担当者の研修、地方公共団体等への助言等を行うとともに、文化財とその活用に関する国際交流や国際協力を積極的に推進する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算	-	-	△ 236	-	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
		計	8,192	7,941	7,366	8,392	9,188
	執行額	8,192	7,941	7,366	-	-	
	執行率(%)	100.0%	100.0%	100.0%	-	-	
	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	[展示事業] ○歴史・伝統文化の保存と継承の中核的拠点としての収蔵品の整備 ・体系的・通史的にバランスのとれた収蔵品の充実を図る ○文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信 ・魅力ある質の高い展示 ・歴史・伝統文化の理解促進 ・快適な観覧環境の提供		成果実績	【文化財の収集】 平成22年度:購入件数65件、寄贈件数70件 平成23年度:購入件数34件、寄贈件数176件 平成24年度:購入件数26件、寄贈件数153件 平成24年度末:収蔵品件数123,378件[うち国宝130件、重要文化財950件] 【文化財の寄託(目標値)】 平成22年度:寄託件数11,975件(11,060件)[うち国宝185件、重要文化財1,185件] 平成23年度:寄託件数11,866件(-)[うち国宝186件、重要文化財1,180件] 平成24年度:寄託件数11,667件(-)[うち国宝187件、重要文化財1,186件] ※平成23年度から寄託件数の目標値は設定していない 【平常展(目標値)】 平成22年度:開催日数日894、陳列替回数725回(1,350回)、来館者数719,179人 平成23年度:開催日数945日、陳列替件数6,768件(5,500件)、来館者数813,802人(861,192人) 平成24年度:開催日数944日、陳列替件数8,649件(6,000件)、来館者数1,022,869人(861,192人) ※平成23年度から陳列替については陳列替した作品の件数に統一した ※平成23年度から平常展来館者数に目標値を設定している			
[調査研究事業] ○収蔵品の次代への継承 ・保存・管理・活用環境整備、収蔵品の修理 ○我が国の博物館活動全体の活性化に寄与 ・収蔵品・収集・保存・管理・展示・教育活動等に関する調査研究 ・公私立博物館等に対する文化財の貸与、援助・助言 ・文化財情報の充実 ○文化財に関する調査及び研究の推進 ・基礎的・体系的な調査研究、調査研究手法の開発、先端的調査研究 ・国等の要請に応じた文化財の保存措置等のために必要な実践的な調査研究		成果実績	【文化財の本格修理(目標値)】 平成22年度:176件(100件) 平成23年度:146件(73件) 平成24年度:137件(74件) 【収蔵品の貸与(目標値)】 平成22年度:1,936件(1,350件) 平成23年度:1,571件(-) 平成24年度:1,814件(-) ※平成23年度から貸与の目標値は設定していない 【公私立博物館・美術館への指導助言】 平成22年度:319件(69件) 平成23年度:412件(-) 平成24年度:326件(-) ※平成23年度から指導助言の目標値は設定していない 【文化財情報のデジタル化】 ・収蔵品の国宝・重要文化財について高精細画像公開システム「e国宝」によりウェブサイトで公開 平成24年度末公開件数:1,056件[内訳:国宝130件、重要文化財926件]				

成果目標及び成果実績 (アウトカム)	[国際研究協力事業] ○文化財の保存・修復を通じた我が国の国際貢献への寄与 ・保存・修復に関する国際協力、連携強化・情報交換、技術移転の促進など	成果実績 【国際協力】 ・[文化財の保護・保存修復に関する協力]:カンボジア(アンコールワット遺跡)、アフガニスタン(ハーミヤーン遺跡)、その他アジア諸国等 ・[人材育成に関する協力]:敦煌研究院研究員への研修、ユネスコアジア文化センター等が実施する研修への協力など ・各種国際会議・国際ワークショップ等への参加 ・アジア太平洋地域における無形文化遺産保護に係る調査研究	
	[情報公開事業] ○情報発信機能の強化 ・文化財研究所の調査研究成果を発信し研究者をはじめ広く社会に還元する	成果実績 【情報基盤の整備】 ・[文化財に関する専門的アーカイブ・データベースの充実]:近現代美術関係文献等のデータベース化、文化財保存修復国際情報データベース化など 【刊行物】 ・[定期刊行物]:東文研ニュース・年報・概要、奈文研ニュース・紀要・概要・埋蔵文化財ニュースなど ・[研究報告等]:美術研究、日本美術年鑑、保存科学、無形文化遺産研究報告、その他研究報告書・研究論文集など 【講演会等】 ・公開講演会、現地説明会、国際シンポジウム、公開学術講座等の開催 【ホームページアクセス件数(目標値)】 平成22年度:6,466,167件(1,112,695件) 平成23年度:1,771,695件(一) 平成24年度:1,655,762件※1(一) ※平成23年度からアクセス件数のカウントをユーザーセッション数に統一した。 ※平成23年度からアクセス件数の目標値は設定していない。 ※1 平成24年度アクセス件数は、一部計測不能期間の推計値を含む。	
	[展示出版事業] ○調査研究成果の適時適切な公表により社会に還元 ・文化財研究所の展示公開施設における調査研究成果の公表による一般への理解 ・文化庁等が行う平城宮跡、飛鳥・藤原宮跡等の公開・活用事業に協力	成果実績 【展示公開施設来館者(目標値)】 平成22年度:来館者数510,931人(142,917人) 平成23年度:来館者数177,745人(138,609人) 平成24年度:来館者数172,879人(138,609人)	
	[教育普及事業] ○歴史・伝統文化の理解促進 ・幅広い学習機会を提供する ・ボランティアや支援団体の育成・相互協力による充実を図る	成果実績 【講演会等参加者数(目標値)】 平成22年度:開催数235回、参加者22,977人(24,893人) 平成23年度:開催数244回(163回)、参加者24,953人(14,948人) 平成24年度:開催数276回(173回)、参加者28,151人(16,290人) ※平成23年度から開催数の目標値も設定している。 【ボランティア登録】 平成22年度:572人 平成23年度:675人 平成24年度:644人	
	[研修事業] ○地方公共団体への協力等による文化財保護の質的向上 ・専門的・技術的な協力・助言を行う ・高度な研修の実施により文化財保護における中核的人材を育成する	成果実績 【専門的・技術的な協力・助言】 平成22年度:502件 平成23年度:652件 平成24年度:769件 【研修会(目標値)】 【埋蔵文化財担当者研修】 平成22年度:実施数11課程(13課程)、延参加人数137人(163人) 平成23年度:実施数13課程(13課程)、延参加人数136人(160人) 平成24年度:実施数12課程(14課程)、延参加人数156人(160人) 【保存担当学芸員研修】 平成22年度:実施期間2週間(2週間)、受講生数33人(25人) 平成23年度:実施期間2週間(2週間)、受講生数27人(25人) 平成24年度:実施期間2週間(2週間)、受講生数30人(25人)	

活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	<p>【収集】 (東京国立博物館) 「狩野秀頼筆蔬菜図」、「伝源俊頼筆東大寺切」などを収集した。 (京都国立博物館) 「土製外容器／青銅経筒」、「重要文化財 変形方格規矩鏡(京都府向日市物集女恵美須古墳出土)」などを収集した。 (奈良国立博物館) 「絹本着色東大寺曼荼羅」、「重要美術品 紺紙金字五苦章句経」などを収集した。 (九州国立博物館) 「前田家伝来名物裂帖」、「紙本墨書明月記断簡」などを収集した。</p> <p>【展覧事業】 ○歴史・伝統文化の保存と継承の中核的拠点としての収蔵品の整備 ・以下に掲げる各館の収集方針に沿って、体系的・通史的にバランスのとれた収蔵品の収集・保存・管理・展示を行う。 (東京国立博物館) 我が国の総合的な博物館として、日本を中心に広くアジア諸地域にわたる文化財を対象とする。 (京都国立博物館) 平安時代から江戸時代の京都文化を中心とした文化財を対象とする。 (奈良国立博物館) 仏教美術及び奈良を中心とした文化財を対象とする。 (九州国立博物館) 日本とアジア諸地域との文化交流を中心とした文化財を対象とする。</p> <p>○文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信 ・平常展は、展覧事業の中核と位置付け、各国立博物館の特色を十分に発揮した体系的・通史的なものとする。 ・特別展等については、国内外の博物館と連携した我が国の中核的拠点にふさわしい質の高い展示を行う。積年の研究成果の発表や時機に合わせた展示を企画し、国民の知的好奇心を刺激する展示を実施する。特別展等の開催回数は概ね年9～13回程度とする。</p>	<p>【平常展について】 (東京国立博物館) ・収蔵品・寄託品等の中からテーマに沿った展示を行い、年間6,989件の展示替えを行いつつ、年間9,190件の文化財を展示した。 ・東京国立博物館140周年事業として、「博物館に初もうで」(平成24年1月)、「博物館でお花見を」(平成24年3～4月)、「秋の特別公開」(平成24年9月)、「博物館に初もうで」(平成25年1月)を実施し、耐震補強工事のため閉館していた東洋館を平成25年1月から開館した。 ・ミュージアムショップを大規模改装し、リニューアルオープンした(平成25年3月)。 (京都国立博物館) ※平常展示館建替工事に伴い、平成20年12月から平常展示は休止中。平成26年春再開予定である。 (奈良国立博物館) ・収蔵品・寄託品等の中からテーマに沿った展示を行い、年間465件の展示替えを行いつつ、年間814件の文化財を展示した。 (九州国立博物館) ・収蔵品・寄託品等の中からテーマに沿った展示を行い、年間1,195件の展示替えを行いつつ、年間2,416件の文化財を展示した。</p> <p>【特別展等について】主な特別展 (東京国立博物館) ・「ボストン美術館 日本美術の至宝」(平成24年3～6月)、「出雲 一聖地の至宝」(平成24年10～11月)、「飛騨の円空 千光寺とその周辺の足跡」(平成25年1～4月) (京都国立博物館) ・「王朝文化の華 一陽明文庫名宝展」(平成24年4～5月)、「古事記1300年 出雲大社大遷宮 大出雲展」(平成24年7～9月) (奈良国立博物館) ・「正倉院展」(各年10～11月)、「解脱上人貞慶 一鎌倉仏教の本流」(平成24年4～5月) (九州国立博物館) ・「平山郁夫 シルクロードの軌跡」(平成24年4～5月)、「ベルリン国立美術館展 一学べるヨーロッパ美術の400年」(平成24年10～12月)、「ボストン美術館 日本美術の至宝」(25年1～3月)</p>	<p>活動実績 (当初見込み)</p>			<p>(—)</p> <p>陳列替件数目標値 (東博5,800件、奈博70件、九博1,100件)</p> <p>陳列総件数目標値 (東博7,500件、奈博500件、九博1,700件)</p> <p>特別展開催目標数 (9～13回程度)</p> <p>特別展目標来館者数 (1,555,000人)</p>

<p>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</p>	<p>【調査研究事業】 ○収蔵品の次代への継承 ・収集・保存・管理に関する研究を実施し、有形文化財の保存に寄与する。 ・耐震対策を計画的かつ速やかに実施し、保存・活用のための環境整備を図る。 ・修理、保存処理を要する収蔵品等について、緊急性の高い収蔵品から順次、計画的に修理する。</p> <p>○我が国の博物館活動全体の活性化に寄与 ・収蔵品については、その保存状況を勘案しつつ、公私立の博物館等に対し、展示等の充実に寄与するため貸与を推進する。 ・公私立博物館等に対する援助・助言を行うとともに、博物館関係者の情報交換・人的ネットワークの形成等に努める。</p> <p>○文化財情報・研究成果などを広く公表すること等を通じて歴史・伝統文化に対する理解が深まるよう努める。 ・収蔵品等に関する調査研究の成果を広く発信する。 ・広報印刷物やウェブサイト等自主媒体の活用及びマスメディアとの連携強化等により、積極的な広報を行う。 ・収蔵品等の文化財その他関連する資料の情報について、永く後世に記録を残すために、データ整備及びデジタル化を推進する。また、ウェブサイトなどの公開システムの充実に努める。</p>	<p>【保管・修理】 ・収蔵品の温湿度管理、防虫対策、耐震対策、作品輸送時の振動調査など、文化財の適切な管理に必要な対策を継続的に実施した。特に耐震対策として、京都国立博物館平常展示館の建替工事を進め、24年度末に展示制作等を除く本体工事を完了した。東京国立博物館では黒田記念館の耐震補強改修工事を進めた。 ・収蔵品の応急修理に積極的に取り組み、劣化の予防に努め、緊急性の高いものから本格修理を実施した。</p> <p>【収蔵品の貸与】 ・国内外の博物館等の要請に応じて、その展示等の充実に寄与するため、収蔵品の保存状態を勘案しつつ貸与を実施した。</p> <p>【公私立博物館・美術館への指導助言】 ・公私立の博物館・美術館等の要請に応じて、展覧会及び運営、作品の展示・保存・修理等の援助・助言を行い、文化財の公開・保護等の水準向上に努めるとともに、文化財レスキュー事業として、東日本大震災において被災した博物館などに対して、文化財保全のための救援活動を、継続して実施した。</p> <p>【文化財情報のデジタル化】 ・収蔵品の文化財とその関連情報について、永く後世に残すためデジタル化を推進し、収蔵品の国宝・重要文化財高精細画像公開システム「e国宝」など、ウェブサイトやスマートフォンアプリの提供により、広く公開を行った。</p>	<p>修理目標件数 (74件)</p>
<p>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</p>	<p>【国際研究協力事業】 ○文化財の保存・修復を通じた我が国の国際貢献への寄与 ・国際共同研究を通じて諸外国の保存・修復の考え方や技術に関する研究を進め、国際協力を推進するための基盤を整備する。継続的な国際協力のネットワークを構築し、アジア地域を中心とする諸外国の文化財の保護事業を推進する。 ・諸外国における文化財の保存・修復に関する人育成と技術移転を積極的に進める。</p>	<p>【国際協力】 ・文化財研究所が、アジア諸国等における文化財の保護協力、技術移転・専門家養成等の支援等を実施した。 ・平成23年度開設のアジア太平洋無形文化遺産研究センターにおいて、ユネスコ無形文化遺産保護条約を中心とした国際的動向の情報収集を図るとともに、文部科学省及び文化庁の受託事業を引き続き実施した。</p> <p>【主な文化財の保護・保存修復に関する協力】 ・カンボジアでアンコールワット遺跡群の調査を実施。 ・アフガニスタンのパーミヤーン遺跡保存修復協力事業を実施。 【主な人材育成に関する協力】 ・中国敦煌研究院保護研究所の研究員を招へいし研修を実施。 ・ユネスコアジア文化センター等が実施する研修への協力を実施。</p>	<p>— ()</p>
<p>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</p>	<p>【情報公開事業】 ○情報発信機能の強化 ・情報基盤の整備・充実に図り、文化財情報の計画的収集・整理・保管及びそれらの電子化の推進による文化財に関する専門的アーカイブの拡充を行うとともに、調査研究に基づく成果としてのデータベースの充実に努める。 ・文化財に関する調査・研究に基づく成果について、定期的な刊行物を刊行する。 ・公開講演会、現地説明会、国際シンポジウムの開催等により、積極的に公開・提供する。 ・研究所の研究・業務等を広報するためウェブサイトの充実に努める。</p>	<p>【情報基盤の整備】 ・情報基盤の整備のため、近現代美術関係文献等のデータベース化、文化財保存修復国際情報データベース化など、文化財に関する専門的アーカイブ・データベースの充実に努めた。 ・文化財に関する調査・研究に基づく成果について、定期的な刊行物を発行するとともに、公開講演会、現地説明会、国際シンポジウムの開催等により、積極的に成果の公開・提供を行った。 ・また、研究所の研究・業務等の広報、各種活動報告、イベント情報の公開、メールマガジンの配信などホームページの充実に努め、ホームページアクセスの増加を図った。</p>	<p>— ()</p>
<p>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</p>	<p>【展示出版事業】 ○調査研究成果の適時適切な公表により社会に還元 ・平城宮跡資料館等について、研究成果の公開施設として展示を充実させ、調査・研究成果の内容を広く一般に理解を深めてもらうことに資する。 ・文化庁等が行う平城宮跡、飛鳥・藤原宮跡等の公開・活用事業に協力し、支援を実施する。</p>	<p>【展示出版事業】 ・平城宮跡資料館、飛鳥資料館・藤原宮跡資料室等の展示公開施設において、調査研究の成果・発掘調査の成果などを速やかに公開し、広く一般への理解を深めることを図った。 ・平城宮跡資料館の展示の目玉の一つである第一次大極殿院模型を補修し、新たに高御座の模型を一部期間展示した。 ・飛鳥資料館において、第1展示室、1階ロビーの内装、照明を全面的に改装した。 ・藤原宮跡資料室では、24年4月1日より橿原市の解説ボランティアによる土日開館を開始し、入室者数が増加した。</p>	<p>研究成果公開施設目標来館者数 (138,609人)</p>

	<p>[教育普及事業] ○歴史・伝統文化の理解促進 ・学校、社会教育関係団体、国内外の博物館等と連携協力しながら、講演会、作品解説、スクールプログラム、ワークショップ等の学習機会を提供する。 ・教育普及活動の充実に寄与するようボランティアを支援する。 ・企業との連携や友の会活動の活性化等により博物館支援者の増加を図る。</p>	活動実績 (当初見込み)	<ul style="list-style-type: none"> ・各博物館において、文化財について分かりやすく理解するための、講演会・列品解説・ギャラリートーク・講座等を多数開催した。 ・学校との連携事業として、小・中・高等学校対象のスクールプログラム、中学生の職場体験、教員研修などを実施した。 ・キャンパスメンバーズの募集、インターンシップの募集、連携講座の実施等により、大学等との連携事業も実施した。 ・各施設においてボランティア活動の支援を行い、ボランティアの外国語による展示案内、点字・手話による案内、ガイドツアーやワークショップの開催など、多様な活動を行った。 ・友の会、パスポート及び賛助会の会員確保に努め、地域や企業との連携事業を推進した。 	講演会等参加者目標数 (170回、15,620人)
	<p>[研修事業] ○地方公共団体への協力等による文化財保護の質的向上 ・地方公共団体や大学、研究機関との連携・協力体制を構築し、文化財に関する協力・助言を行う。 ・埋蔵文化財に関する研修及び保存科学に関する保存担当学芸員研修を実施する。</p>	活動実績 (当初見込み)	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財研究所が、地方公共団体等の要請に応じて、文化財の修復及び整備に関する調査・助言、地方公共団体等が行う発掘調査への援助・助言など、文化財に関する専門的・技術的な協力・助言を多数実施した。 ・文化財に関する高度な研究成果をもとに地方公共団体等で中核となる文化財担当者に埋蔵文化財に関する研修、保存科学に関する保存担当学芸員研修を実施した。 ・東京藝術大学等の大学との間での連携大学院教育を実施し、若手研究者の育成に寄与した。 	埋蔵文化財担当者研修目標 (9課程、117人) 保存担当学芸員研修目標 (2週間、25名程度)
単位当たりコスト	—	算出根拠	—	
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由
	独立行政法人国立文化財機構運営費交付金	8,392 百万円	9,188 百万円	「新しい日本のための優先課題推進枠」1,859百万円 「国立の美術館・博物館・劇場の機能強化に関する提言(平成25年5月17日:自民党文化伝統調査会)」において、専門人材の確保など、ナショナルセンターとしての役割の重要性が求められていることから、更なる機能強化を図るため、必要な経費を平成26年度に要求するため。
計	8,392 百万円	9,188 百万円		

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	貴重な国民的財産である文化財の収集保存、公開活用、文化財に関する調査研究事業等については、広く国民のニーズがあり、優先度の高い事業として、ナショナルセンターとしての独立行政法人国立文化財機構が実施すべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		—			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	支出先の選定にあたっては、業務の特殊性を除き、一般競争入札などにより支出先を選定しており、競争性の確保、単位あたりのコスト削減に努めている。また、契約手続にあたって、事業経費の費目・用途の内容を厳正に審査するなど、その必要性について適切にチェックを行っている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	貴重な国民的財産である文化財の保存活用を図るナショナルセンターとして、年度計画どおり事業が実施されており、着実に成果をあげていると認められる。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>・平成24年度の入館者数、文化財の修理件数、講演会等参加者数が目標値を上回っていることは評価できる。</p> <p>・展示出版事業において、調査研究の成果・発掘調査の成果を早く公開したことについて評価できる。</p> <p>・引き続き、国費の縮減のための業務運営の効率化に努めるとともに、ナショナルセンターとしての事業の充実のための民間からの寄付、自己収入等による外部資金の導入が求められる。</p>					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	<p>1. 事業評価の観点: 本事業は、独立行政法人に対する運営費交付金の交付事業であり、事業の効率化の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見: これまでも業務運営の効率化に努めてきたところであるが、必要な機能強化を計画的に図りつつ、行政改革推進本部における中間的整理等を踏まえ、より一層の適切かつ効率的な運営に努めるべきである。</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	<p>本件については、毎年度、運営費交付金の削減を図り、業務の効率化に努めてきたところである。行政改革推進本部における中間的整理等を踏まえ、より一層の効率的な運営に努めるべく、平成26年度概算要求に▲67百万円反映した。</p> <p>「国立の美術館・博物館・劇場の機能強化に関する提言(平成25年5月17日: 自民党文化伝統調査会)」において、専門人材の確保など、ナショナルセンターとしての役割の重要性が求められていることから、更なる機能強化を図ることとする。</p>					
備考						
<p>関係する計画、通知等については以下を参照。</p> <p>○中期目標 http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/dokuritu/chuuki/bunkazai.htm</p> <p>○中期計画 http://www.nich.go.jp/data/hyoka/03chukikeikaku_2011-2015.pdf(国立文化財機構HPへリンク)</p> <p>○業務方法書 http://www.nich.go.jp/data/hyoka/01gyomuhohosho.pdf(国立文化財機構HPへリンク)</p>						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0483	平成23年	0405	平成24年	0428

※平成24年度実績を記入。

文化庁
7,366百万円

事業概要
・文化財の収集・保管・展示等を行う博物館の設置・運営
・文化財の研究・保存科学及び修復技術に関する拠点形成
・調査・研究成果の公開、国際交流及び国際協力

交付

【A】(独)国立文化財機構
9,476百万円(運営費交付金部門)

※支出額については総事業費で記入している

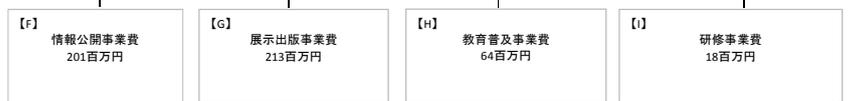


運営管理に係る一般管理費及び人件費に係るものである。

各国立博物館の特色を十分に発揮した体系的・通史的なものとするともに、最新の研究成果を基に、日本の歴史・伝統文化及び東洋文化の理解の促進に寄与する展示を実施すること及び、国内外の博物館と連携した我が国の中心的拠点にふさわしい質の高い展示を行うことを目的とした事業。

文化財に関する基礎的・体系的な調査・研究を通して、国内の機関との共同研究や研究交流を深め、種々の課題に取り組むことにより、国・地方公共団体における文化財保護施策の企画・立案、文化財の評価等に関する基盤の形成に寄与すること及び、文化財の調査手法に関する研究・開発を推進し、文化財を生み出した文化的・歴史的・自然的背景等の背景やその変化の過程を明らかにすることに寄与することを目的とした事業。

文化財の保存・修復に関する国際研究協力に関する事業を有機的・総合的に展開することにより、人類共通の財産である文化財の保存・修復に関する国際研究協力を通じて、我が国の国際貢献に寄与することを目的とした事業。



調査・研究に基づく資料の作成及び文化財に関連する資料の収集・整理・保管を行うとともに、調査・研究成果を積極的に公表・公開し、研究者や広く一般の人が調査・研究成果を容易に入手できるようにすることを目的とした事業。

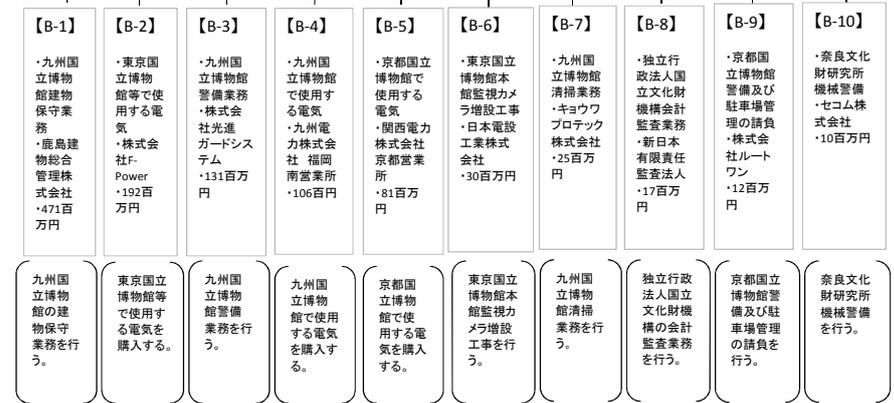
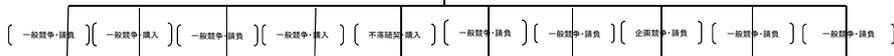
文化財に関する調査・研究に基づく成果について刊行物を発行するとともに、公開講演会、現地説明会、国際シンポジウムの開催等により、積極的に公開・提供すること及び、研究成果の公開施設としての役割を強化する観点から展示を充実させ、調査・研究成果の内容を広く一般に理解を深めてもらうことを目的とした事業。

日本の歴史・伝統文化及び東洋文化への理解促進を図るための中心的拠点として相応しい事業を重点的に行うこと及び、教育普及活動の充実を促進するようボランティア活動を支援し、ボランティアの質向上に努めることを目的とした事業。

文化財に関する高度な研究成果をもとに、地方公共団体等で中核となる文化財担当者に関する研修等を行うことにより、文化財保護に必要な人材を養成することを目的とした事業。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

【B】法人共通



九州国立博物館の建物保守業務を行う。

東京国立博物館等で使用する電気を購入する。

九州国立博物館整備業務を行う。

九州国立博物館で使用する電気を購入する。

京都国立博物館で使用する電気を購入する。

東京国立博物館本館監視カメラ増設工事を行う。

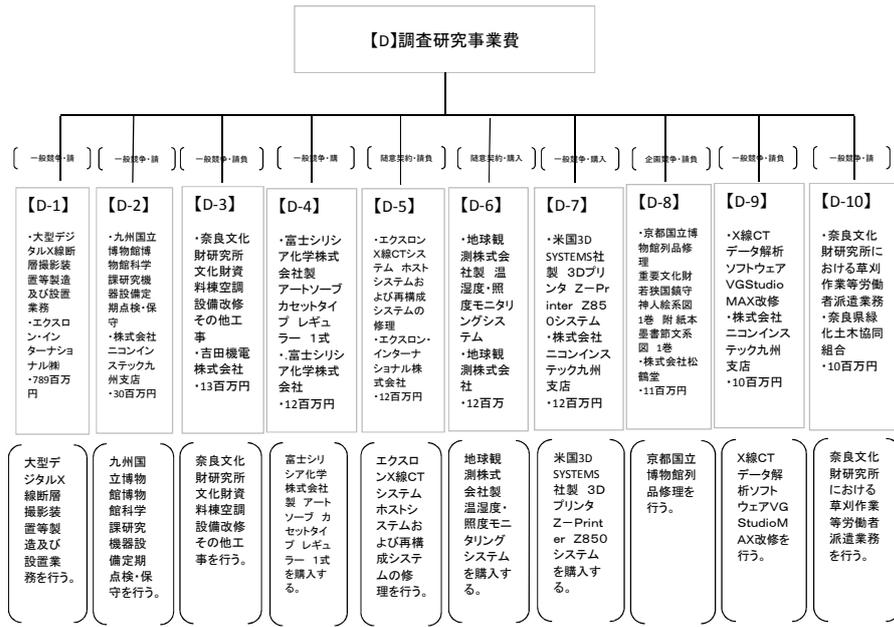
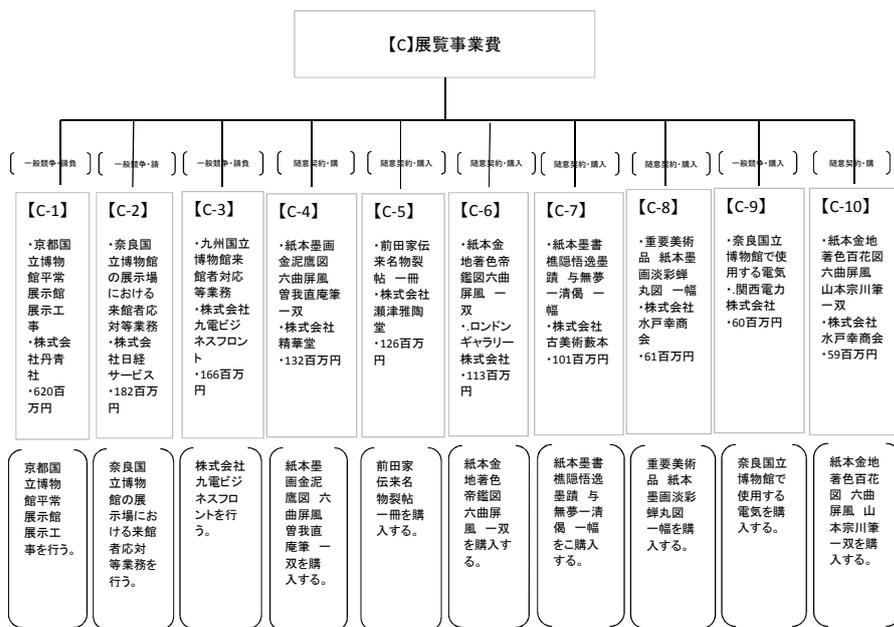
九州国立博物館清掃業務を行う。

独立行政法人国立文化財機構の会計監査業務を行う。

京都国立博物館整備及び駐車場管理の請負を行う。

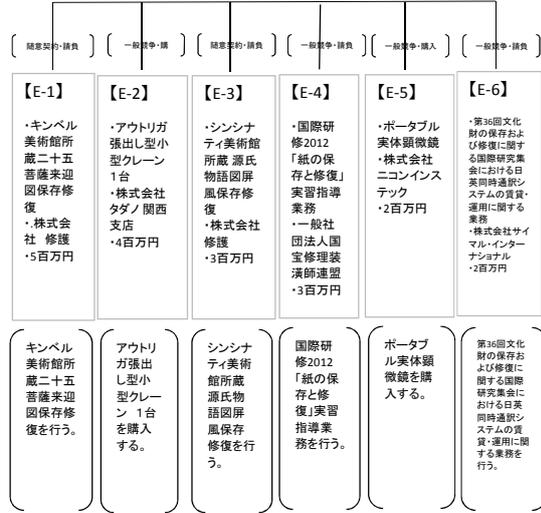
奈良文化財研究所機械整備を行う。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)

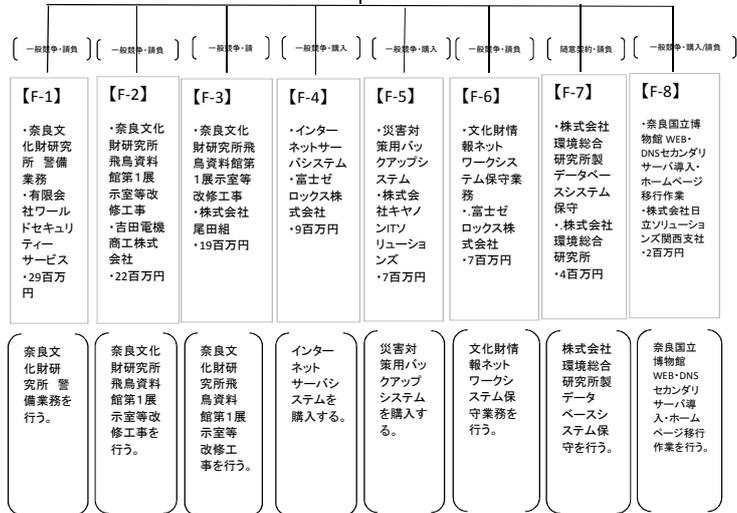


資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)

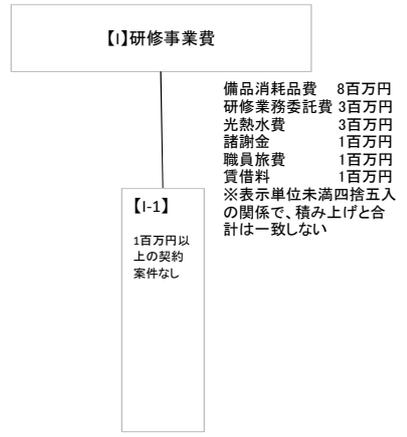
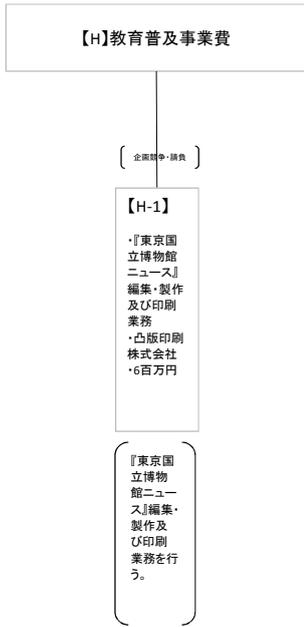
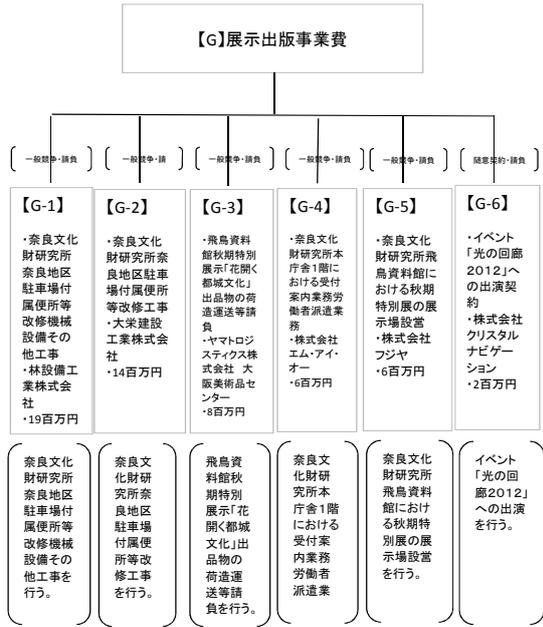
【E】国際研究協力事業費



【F】情報公開事業費



資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を
 しているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



費目・使途 ("資金の流れ")においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.(独)国立文化財機構			E.国際研究協力事業費		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	事業費(物件費)	陳列品購入等(内訳はC以下参照)	5,989	事業費(物件費)	在外の日本文化財修復、国際会議開催等	163
	事業費(人件費)	業務人件費	2,124			
	一般管理費(物件費)	施設管理、賃貸借等	683			
	一般管理費(人件費)	管理人件費	680			
	計		9,476	計		163
	B.法人共通			F.情報公開事業費		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	事業費(人件費)	業務人件費	2,124	事業費(物件費)	ネットワーク機器保守等	201
一般管理費(物件費)	施設管理、賃貸借等	683				
一般管理費(人件費)	管理人件費	680				
計		3,487	計		201	
C.展覧事業費			G.展示出版事業費			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
事業費(物件費)	陳列品購入、光熱費、展示場警備等	3,229	事業費(物件費)	研究公開施設の維持等	213	
計		3,229	計		213	
D.調査研究事業費			H.教育普及事業費			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
事業費(物件費)	調査研究機器、文化財修理等	2,101	事業費(物件費)	博物館広報の印刷物等	64	
計		2,101	計		64	

費目・使途 ("資金の流れ")においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	I.研修事業費			B-4.九州電力株式会社 福岡南営業所		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	事業費(物件費)	埋蔵文化財担当者研修等実施経費	18	物品	九州国立博物館で使用する電気	106
	計		18	計		106
	B-1.鹿島建物総合管理株式会社			B-5.関西電力株式会社京都営業所		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	九州国立博物館建物保守業務	471	物品	京都国立博物館で使用する電気	81
	計		471	計		81
	B-2.株式会社F-Power			B-6.日本電設工業株式会社		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品	東京国立博物館等で使用する電気	192	工事	東京国立博物館本館監視カメラ増設工事	30	
計		192	計		30	
B-3.株式会社光進ガードシステム			B-7.キョウワプロテック株式会社			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
役務	九州国立博物館警備業務	131	物品	九州国立博物館清掃業務	25	
計		131	計		25	

費目・使途 ("資金の流れ")においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	B-8.新日本有限責任監査法人			C-2.株式会社日経サービス		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	独立行政法人国立文化財機構会計監査業務	17	役務	奈良国立博物館の展示場における来館者対応等業務	182
	計		17	計		182
	B-9.株式会社ルートワン			C-3.株式会社九電ビジネスフロント		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	京都国立博物館警備及び駐車場管理の請負	12	役務	九州国立博物館来館者対応等業務	166
	計		12	計		166
	B-10.セコム株式会社			C-4.株式会社精華堂		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品	奈良文化財研究所機械警備	10	物品	紙本墨画金泥鷹図 六曲屏風 菅我直庵筆 一双	132	
計		10	計		132	
C-1.株式会社丹青社			C-5.株式会社瀬津雅陶堂			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
工事	京都国立博物館平常展示館展示工事	620	物品	前田家伝来名物契帖 一冊	126	
計		620	計		126	

費目・使途 （「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）	C-6.ロンドンギャラリー株式会社			C-10.株式会社水戸幸商会		
	費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
	物品	紙本金地着色帝鑑図六曲屏風 一双	113	物品	紙本金地着色百花図 六曲屏風 山本宗川筆 一双	59
	計		113	計		59
	C-7.株式会社古美術藪本			D-1.エクスロン・インターナショナル(株)		
	費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
	物品	紙本墨書樵隱悟逸墨蹟 与無夢一清偈 一幅	101	物品役務	大型デジタルX線断層撮影装置等製造及び設置業務	789
	計		101	計		789
	C-8.株式会社水戸幸商会			D-2.株式会社ニコンインステック九州支店		
	費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
	物品	重要美術品 紙本墨画淡彩蟬丸図 一幅	61	役務	九州国立博物館博物館科学課研究機器設備定期点検・保守	30
	計		61	計		30
C-9.関西電力株式会社			D-3.吉田機電株式会社			
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)	
物品	奈良国立博物館で使用する電気	60	工事	奈良文化財研究所文化財資料棟空調設備改修その他工事	13	
計		60	計		13	

費目・使途 （「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）	D-4.富士シリシア化学株式会社			D-8.株式会社松鶴堂		
	費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
	物品	富士シリシア化学株式会社製 アートソーパークセットタイプ レギュラー 1式	12	役務	京都国立博物館列品修理 重要文化財 若狭国鎮守神人絵系図 1巻	11
	計		12	計		11
	D-5.エクスロン・インターナショナル株式会社			D-9.株式会社ニコンインステック九州支店		
	費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
	物品	エクスロンX線CTシステム ホストシステムおよび再構成システムの修理	12	役務	X線CTデータ解析ソフトウェアVGStudioMAX改修	10
	計		12	計		10
	D-6.地球観測株式会社			D-10.奈良県緑化土木協同組合		
	費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
	物品	地球観測株式会社製 温湿度・照度モニタリングシステム	12	役務	奈良文化財研究所における草刈作業等労働者派遣業務	10
	計		12	計		10
D-7.株式会社ニコンインステック九州支店			E-1.株式会社 修護			
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)	
物品	米国3D SYSTEMS社製 3Dプリンタ Z-Printer Z850システム	12	役務	キンベル美術館所蔵二十五菩薩来迎図保存修復	5	
計		12	計		5	

費目・使途 （「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）	E-2.株式会社 タダノ 関西支店			E-6.株式会社サイマル・インターナショナル		
	費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
	物品	アウトリガ張出し型小型クレーン 1台	4	役務	第36回文化財の保存および修復に関する国際研究集会における日英同時通訳システム	2
	計		4	計		2
	E-3.株式会社 修護			F-1.有限会社ワールドセキュリティサービス		
	費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
	役務	シンシナティ美術館所蔵 源氏物語図屏風保存修復	3	役務	奈良文化財研究所 警備業務	29
	計		3	計		29
	E-4.一般社団法人国宝修理装演師連盟			F-2.吉田電機商工株式会社		
	費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
	役務	国際研修2012「紙の保存と修復」実習指導業務	3	工事	奈良文化財研究所飛鳥資料館第1展示室等改修工事	22
	計		3	計		22
E-5.株式会社ニコンインステック			F-3.株式会社尾田組			
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)	
物品	ポータブル実体顕微鏡	2	工事	奈良文化財研究所飛鳥資料館第1展示室等改修工事	19	
計		2	計		19	

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	F-4.富士ゼロックス株式会社			F-8.株式会社日立ソリューションズ関西支社		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	物品	インターネットサーバシステム	9	役務	奈良国立博物館 WEB・DNSセカンダリサーバ導入・ホームページ移行作業	2
	計		9	計		2
	F-5.株式会社キヤノンITソリューションズ			G-1.林設備工業株式会社		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	物品	災害対策用バックアップシステム	7	工事	奈良文化財研究所奈良地区駐車場付属便所等改修機械設備その他工事	19
	計		7	計		19
	F-6.富士ゼロックス株式会社			G-2.大栄建設工業株式会社		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	文化財情報ネットワークシステム保守業務	7	工事	奈良文化財研究所奈良地区駐車場付属便所等改修工事	14
	計		7	計		14
F-7.株式会社環境総合研究所			G-3.ヤマトロジスティクス株式会社 大阪美術品センター			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
役務	株式会社環境総合研究所製データベースシステム保守	4	役務	飛鳥資料館秋期特別展示「花開く都城文化」出品物の荷造運送等請負	8	
計		4	計		8	

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	G-4.株式会社エム・アイ・オー			H-1.凸版印刷株式会社		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	奈良文化財研究所本庁舎1階における受付案内業務労働者派遣業務	6	役務	『東京国立博物館ニュース』編集・製作及び印刷業務	6
	計		6	計		6
	G-5.株式会社フジヤ			I-1.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	奈良文化財研究所飛鳥資料館における秋期特別展の展示場設営	6	該当なし		
	計		6	計		0
	G-6.株式会社クリスタルナビゲーション					
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	イベント「光の回廊2012」への出演契約	2			
	計		2	計		0
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
計		0	計		0	

支出先上位10者リスト

B.法人共通

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	鹿島建物総合管理株式会社	九州国立博物館建物保守業務を行う。	471	1	-
2	株式会社F-Power	東京国立博物館等で使用する電気を購入する。	192	1	-
3	株式会社光進ガードシステム	九州国立博物館警備業務を行う。	131	6	-
4	九州電力株式会社 福岡南営業所	九州国立博物館で使用する電気を購入する。	106	1	-
5	関西電力株式会社京都営業所	京都国立博物館で使用する電気を購入する。	81	不落随契	-
6	日本電設工業株式会社	東京国立博物館本館監視カメラ増設工事を行う。	30	5	-
7	キョウワプロテック株式会社	九州国立博物館清掃業務を行う。	25	4	-
8	新日本有限責任監査法人	独立行政法人国立文化財機構会計監査業務を行う。	17	企画競争	-
9	株式会社ルートワン	京都国立博物館警備及び駐車場管理の請負を行う。	12	4	-
10	セコム株式会社	奈良文化財研究所機械警備を行う。	10	1	-

C.展覧事業費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社丹青社	京都国立博物館平常展示館展示工事を行う。	620	2	-
2	株式会社日経サービス	奈良国立博物館の展示場における来館者対応等業務を行う。	182	2	-
3	株式会社九電ビジネスフロント	九州国立博物館来館者対応等業務を行う。	166	4	-
4	株式会社精華堂	九州国立博物館の陳列品を購入する。	132	随意契約	-
5	株式会社瀬津雅陶堂	九州国立博物館の陳列品を購入する。	126	随意契約	-
6	ロンドンギャラリー株式会社	九州国立博物館の陳列品を購入する。	113	随意契約	-
7	株式会社古美術藪本	九州国立博物館の陳列品を購入する。	101	随意契約	-
8	株式会社水戸幸商会	九州国立博物館の陳列品を購入する。	61	随意契約	-
9	関西電力株式会社	奈良国立博物館で使用する電気を購入する。	60	1	-
10	株式会社水戸幸商会	九州国立博物館の陳列品を購入する。	59	随意契約	-

D.調査研究事業費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	エクスロン・インターナショナル(株)	大型デジタルX線断層撮影装置等製造及び設置業務を行う。	789	1	-
2	株式会社ニコンインステック九州支店	九州国立博物館博物館科学課研究機器設備定期点検・保守を行う。	30	1	-
3	吉田機電株式会社	奈良文化財研究所文化財資料棟空調設備改修その他工事を行う。	13	10	-
4	富士シリシア化学株式会社	富士シリシア化学株式会社製 アートソープ カセットタイプ レギュラー 1式を購入する。	12	1	-
5	エクスロン・インターナショナル株式会社	エクスロンX線CTシステム ホストシステムおよび再構成システムの修理を行う。	12	随意契約	-
6	地球観測株式会社	地球観測株式会社製 温湿度・照度モニタリングシステムを購入する。	12	随意契約	-
7	株式会社ニコンインステック九州支店	米国3D SYSTEMS社製 3Dプリンタ Z-Printer Z850システムを購入する。	12	1	-
8	株式会社松鶴堂	京都国立博物館所蔵の列品の修理を行う。	11	企画競争	-
9	株式会社ニコンインステック九州支店	X線CTデータ解析ソフトウェアVGStudioMAX改修を行う。	10	1	-
10	奈良県緑化土木協同組合	奈良文化財研究所における草刈作業等労働者派遣業務を行う。	10	2	-

E.国際研究協力事業費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社 修護	キンベル美術館所蔵二十五菩薩来迎図保存修復を行う。	5	随意契約	-
2	株式会社 タダノ 関西支店	アウトリガ張出し型小型クレーン 1台を購入する。	4	2	-
3	株式会社 修護	シンシナティ美術館所蔵 源氏物語図屏風保存修復を行う。	3	随意契約	-
4	一般社団法人国宝修理装演師連盟	国際研修2012「紙の保存と修復」実習指導業務を行う。	3	1	-
5	株式会社ニコンインステック	ポータブル実体顕微鏡を購入する。	2	1	-
6	株式会社サイマル・インターナショナル	第36回文化財の保存および修復に関する国際研究集会における日英同時通訳システムの賃貸・運用に関する業務を行う。	2	1	-

F.情報公開事業費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	有限会社ワールドセキュリティーサービス	奈良文化財研究所 警備業務を行う。	29	9	-
2	吉田電機商工株式会社	奈良文化財研究所飛鳥資料館第1展示室等改修工事を行う。	22	4	-
3	株式会社尾田組	奈良文化財研究所飛鳥資料館第1展示室等改修工事を行う。	19	2	-
4	富士ゼロックス株式会社	インターネットサーバシステムを購入する。	9	1	-
5	株式会社キャンノンITソリューションズ	災害対策用バックアップシステムを購入する。	7	1	-
6	富士ゼロックス株式会社	文化財情報ネットワークシステム保守業務を行う。	7	1	-
7	株式会社環境総合研究所	株式会社環境総合研究所製データベースシステム保守を行う。	4	随意契約	-
8	株式会社日立ソリューションズ関西支社	奈良国立博物館 WEB・DNSセカンダリサーバ導入・ホームページ移行作業を行う。	2	2	-

G.展示出版事業費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	林設備工業株式会社	奈良文化財研究所奈良地区駐車場付属便所等改修機械設備その他工事を行う。	19	6	-
2	大栄建設工業株式会社	奈良文化財研究所奈良地区駐車場付属便所等改修工事を行う。	14	6	-
3	ヤマトロジスティクス株式会社 大阪美術品センター	飛鳥資料館秋期特別展示「花開く都城文化」出品物の荷造運送等請負を行う。	8	2	-
4	株式会社エム・アイ・オー	奈良文化財研究所本庁舎1階における受付案内業務労働者派遣業務を行う。	6	7	-
5	株式会社フジヤ	奈良文化財研究所飛鳥資料館における秋期特別展の展示場設営を行う。	6	6	-
6	株式会社クリスタルナビゲーション	イベント「光の回廊2012」への出演契約を行う。	2	随意契約	-

H.教育普及事業費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	凸版印刷株式会社	『東京国立博物館ニュース』編集・製作及び印刷業務を行う。	6	企画競争	-

I.研修事業費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	該当なし				

※落札率については、同種の他の契約の予定価格を類推させる恐れがあるため非公表とする。